

10 日間の
祈り

『だから あなたが祈るときは』

【8日目 わたしたちに必要な糧を
今日与えてください】

【テーマ聖句】

「たゆまず善を行いましょう。飽きずに励んでいれば、時が来て、実を刈り取る
ことになります。ですから、今、時のある間に、すべての人に対して、特に信仰
によって家族になった人々に対して、善を行いましょう。」

(ガラテヤの信徒への手紙 6章 9、10節)

2025年1月15日(水)

神様が備えてくださる

私はいつものように家計簿をつけていました。まず什一を取り分け、伝道や困っている人々のために
少額を取っておき、その後ですべての請求書の支払いと息子たちの学費分を確保すると、食費やその他
の残ったお金はわずかでした。その日は朝から激しい雨が降っていましたが、私は学費を学校に直接納
めるために車で出発しました。

車道から学校の敷地に入ろうとすると、一人の若い女性が困惑した様子で立っているのを見えました。
車を停車すると、その女性は数か月前に私がバプテスマを授けたばかりの教会員であることに気づきま
した。「どうしたの？」と声をかけると彼女は泣きながら言いました。勤めていた近所の工場が閉鎖さ
れ、大勢が職を失ったために家賃が払えなくなり、二人の小さな子どもと一緒にアパートを追い出され
たということです。ついに食べる物まで無くなってしまったのだと彼女は話してくれました。

私は彼女を車でスーパーに連れて行き、カートにいっぱい食料を詰めて、学費のために準備してい
たお金の一部で支払いを済ませてから彼女に渡しました。彼女を学校まで送りながら、今度は彼女のア
パートの家主と電話で交渉しました。家賃の半分以上を学費の残りのお金で支払うので、残りはなんとか免
除してほしいと伝え、承諾してもらいました。次に教会役員の一人に電話して、彼女の電気代を代わり
に支払ってもらうように頼みました。そして「新しい仕事に就いて生活が安定したら、今度は他の人を
助けてあげるんだよ」と微笑みながら彼女に伝えました。彼女は心から感謝している様子でした。

今朝起きた出来事を家内に説明しながら、学費をどう工面しようかと告げると、彼女は平安のうちに
「神様がきっと備えてくださるわ」と言ったのです。その日の午後、郵便ポストに一通の手紙が届きま
した。封筒の中には一枚の小切手が入っていて、その額は、私が若い女性を助けるために支払ったもの
とまったく同じだったのです。

神様は、私たちが自分の子どもを愛する以上に、私たちを愛しておられます。聖書には、神様が私た
ちの日ごとの必要を満たしてくださるという約束がありますが(イザヤ 33:16)、「私たちの日ごとの糧
を今日もお与えください」(マタイ 6:11)の「私たち」という言葉に特に注目してください。ここでイ
エスは、私たちが自分自身のためだけでなく、周りの人々のためにも祈るべきだと明確に示しておられ
ます。また聖書は、私たちが自分を愛するように他の人々を愛するべきだと言っている(マルコ
12:31)、やはり私たちは他者のためにも祈るべきです。(ヤコブ 5:16)「互いに重荷を担いなさい。そ
のようにしてこそ、キリストの律法を全うすることになるのです。」(ガラテヤ 6:2) 一世紀のキリスト
の弟子たちは、このように何事においても一つとなっていたのです。(使徒 4:32)

「わたしたちの祈りは、ただ自分の利益のみを求める利己的な願いであってはならない。わたしたち
は、与えるために求めるべきである。キリストの生活の原則が、わたしたちの生活の原則でなければな
らない。……わたしたちは、他の人々に分かつことができるように、神に祝福を求めなければならない。
受ける能力は、分かつことによつてのみ維持することができる。周りにいる人々に与えないでいて、天
の宝を受け続けることはできない。」(『希望への光』 1237 ページ、『キリストの実物教訓』 12章)

注目すべき点は、主の祈りの中では「明日の」糧についてではなく、「今日の」糧についてのみ述べら
れていることです。イスラエルの民もマナを一日分だけ集めることがゆるされていましたが(出エジプ
ト 16:4)、神様はあなたに明日のことを心配してほしくないのです。(マタイ 6:34) 今日一日分の祝福

を、他者に分け合うために祈り求めるのです。キリストの弟子は、人々に説教する前にまず周囲の人々を祝福することによって神様を愛していることを示すべきです。

安息日に礼拝に出席することはもちろん大切なことですが、主は裁きの日に、私たちがどれだけ教会に出席したかや、善い行いをしたかどうかでご判断されるわけではありません。(ヘブライ 10:25) イエスは次のように言っています。「私は裸で、飢え、渴いていた。あなたが周りの人々にどのように愛を示したかが、あなたの私への愛を示しているのだ。」(マタイ 25:31~45 参照)
神様はあなたが隣人のために祈り、隣人を愛し、周りのすべての人々に祝福をもたらすことを願っておられます。共に祈りましょう。

祈りのグループの種類や、祈る方法はさまざまです。今から 30~45 分間、聖霊に導かれるままに、一致した祈りの時間を過ごすことをお勧めします。以下は、御言葉に基づいて祈る祈りの一例です。他の聖句を読んで祈ることもできます。祈りのアイデアについてはリーダーズガイドをご覧ください。

【神のみ言葉によって祈る】

「たゆまず善を行いましょう。飽きずに励んでいれば、時が来て、実を刈り取ることにあります。ですから、今、時のある間に、すべての人に対して、特に信仰によって家族になった人々に対して、善を行いましょう。」（ガラテヤの信徒への手紙 6 章 9、10 節）

「たゆまず善を行いましょう」

父なる神様。私たちはときに奉仕の働きのために疲れ果ててしまいます。計画そのものや結果にとらわれすぎてしまうため、すべての力の源があなたであることを忘れてしまいがちです。どうか私たちの目をいつもあなたに向けてさせてください。私たちの心を新たにして、この困難な世界に注がれるあなたの尽きることのない愛で私たちを満たしてください。

「飽きずに励んでいれば、時が来て、実を刈り取ることにあります」

神様。収穫の日が必ず来るというお約束に感謝いたします。私たちが人々の心に信仰の種を蒔き、水を注ぐ働きを日々忠実に果たすことができますように。そして結果は主に委ねることができますように。

「すべての人に対して善を行いましょう」

神様。今日、奉仕の機会に気づくことができるように私たちの目を開いてください。私たちが神の家族の一員であることに心から感謝し、子どもたちや配偶者、隣人、そして教会員にどのように愛を示したら良いかを教えてください。

【さらなる祈りの提案】

感謝と讃美： 与えられた祝福を具体的に感謝し、神の恵みを賛美する

告白： 数分間、個人的な告白を行い、神の赦しに感謝する

願い： 現在の課題や決断に知恵を与えてくださるようお願いする

教会のために： 私たちの教会、地域の教会、世界中の教会の働きを神が祝福してくださるよう
に祈る

人々の必要のために： 教会員、家族、隣人の必要のために祈る

静かに耳を傾け、応答する： 静かに神の声に耳をかたむけ、賛美と歌で応答する時間をもつ